

編集 後記

毎年秋に開催される学術総会での発表演題数に比べて、本誌の掲載論文数が少ないことを懸念する声を聞くことがあります。公衆衛生実践家と公衆衛生研究者とでは、この状況のとらえ方はまったく異なります。実践家は、論文執筆のための経験の少なさ、あるいは時間確保の困難さを理由として挙げるでしょう。研究者は、Impact Factorが付与されない、和文中心の本誌には、投稿先として魅力を感じないというのが本音でしょう。従って、実践家からの投稿が増えないと、本誌の掲載論文数の増加は実現できません。

一人でも多くの実践家会員に、公衆衛生上意義のあるテーマでの学会発表を行ったら、文章で表現する機会を作っていただくようお願いします。自分なりに論旨が一貫する文章が書けたら、是非本誌に投稿してみてください。本誌の編集委員会のすぐれた特徴の一つは、編集委員と査読委員の多くが、投稿論文を教育的に査読する労を惜しまないことです。内容に意義が認められる投稿であれば、編集委員と査読委員が、論文を質的に高める丁寧な助言をします。

もう一方の当事者である研究者（特に執筆者を指導する研究者）には、「すぐれた内容の論文は他誌へ、内容の乏しい論文は本誌へ」という、投稿先の使い分けだけは厳に慎んでいただくようお願いします。編集委員と査読委員が、質の悪い投稿への対応で時間を取られ、実践家からのすぐれた投稿に十分な時間を充てられないことにつながります。

本号のどの掲載論文も、著者グループの原作が、教育的査読によって磨かれた成果です。本誌が、これからも、現場での質の高い取り組みの成果が発表される、日本の公衆衛生のリーディング・ジャーナルであり続けることを願いながら、編集作業に携わっています。

(安田誠史)

次号予告 (第57巻・第4号)

原著

がん医療集約化による死亡率減少効果の試算
福井県地域がん登録データからの解析

……………服部昌和, 他
定期的なグループトレーニングが高齢者の脈波伝
搬速度に及ぼす影響……………三浦 哉, 他
高齢者の社会的活動と関連要因

シルバー人材センターおよび老人クラブの登録
者を対象として……………長田久雄, 他

資料

新聞に掲載された健康食品に関する広告の内容分
析……………赤松利恵, 他
在宅人工呼吸療法を行う ALS 患者における身体
的重症度別の医療・福祉サービスの利用状況

……………平野優子
救急活動記録票における転倒・転落記録状況の調
査……………吉本好延, 他

連載

保健師助産師看護師法の改正と保健師教育の

展望(8)……………村嶋幸代
健康の社会的決定要因(1)……………近藤克則